

平成26年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
総合計画に示す、「安全で人にやさしいまち」「快適で住みよいまち」「活力とぎわいのあるまち」「自然と共生する美しいまち」を目指し、経済環境部各課が課題としている事業や実施計画で計上されている事業等を確実に推進する。	1.産業振興ビジョン策定	・自立可能な地域経済基盤の確立を目的に、市民・企業・行政・関係機関が共有する市産業の目指すべき姿とその実現に向けた重点施策を示す「産業振興ビジョン」を策定する。	・社会経済情勢の動向把握、基礎調査(事業者・消費者アンケート、ヒアリング)、分析を行い、市産業の将来像、重点施策の骨子を作成する。	統計等データ分析に加え、事業者(1751所)・市民(約2,000名)・近隣市町住民アンケート(520名)、農業者アンケート(150名)、事業者、関係機関ヒアリング(約50件、260名)を実施。庁内職員ワークショップ、検討会を重ね、ビジョン策定に向けた基礎調査及び庁内レベルの方向性案を作成した。	A	来年度は有識者、事業者、市民による産業振興ビジョン推進委員会を設置し、具体的な施策、事業、評価方法等について検討し、策定を進める。
	2.中小企業成長支援、中小企業売込み隊プロジェクト	・市経済の持続的発展のため、市内中小企業が成長するための新製品開発事業や産学連携、産業財産権取得、販路開拓を目的とした展示会出展等への支援を行う。さらに、商工会等産業支援機関と連携して市内中小企業のマーケティング・販路開拓を支援する「中小企業売込み隊」を組織し、国内外の大規模展示会への市内企業合同出展等を企画し、積極的に市内企業の	・中小企業成長支援事業補助金として5事業へ補助 ・中小企業売込み隊プロジェクト(メッセ名古屋、日中のづくり商談会、スーパーマーケットトレードショーカーへの市内企業合同出展など)	市・商工会・京都産業21等の企業支援機関により「京田辺中小企業売込み隊」を結成。主に以下の展示会に市内企業合同出展を企画・実施。「日中のづくり商談会@上海」7社出展、商談数237件、成立見込数34件「メッセナゴヤ」6社出展、商談数333件、成約見込数74件、「スーパーマーケットトレードショーカー」4社出展、商談数423件、成約見込数95件と予想を上回る成果があった。	A	来年度は展示会出展後のフォロー(テレアポ等)専門のセミナーを実施予定。より出展効果を高める取り組みを行う。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	3.観光資源を活用した市内産業の活性化	・観光分野での産官学連携事業としてライトアップ事業を実施し、観光客を積極的に誘致するとともに、観光大使を活用したPRを実施し誘客をはかる。また、観光協会が独自に事業に取り組めるよう活動支援や協会の「一休品認定事業」を支援することにより、市内産業の活性化に取り組む。	・観音寺の春は菜の花と桜、秋は紅葉をライトアップし誘客につなげる。 ・観光大使の着ぐるみ(一休さん)を活用した観光PR、観光客へのもてなし ・観光協会職員の人材育成 ・「一休品」の販売支援	・観音寺での春のライトアップは200人、秋のライトアップへは1027人の来場者があった。 ・観光大使「一休さん」の出演は52回、観光協会が実施している一休品の販売支援として、15回の販売機会を支援した。 ・一般社団法人化の準備を進めている観光協会職員3人を0JTやoff-JTを通して、人材育成し、法人職員の雇用につなげた。	A	・H27年4月に一般社団法人化する京田辺市観光協会が独自、及び積極的に観光振興事業に取り組めるよう、協力・連携していく。
	4.全国茶品評会入賞点数を増加させ、「産地賞」奪還を目指す	・京田辺玉露というブランド形成による、茶業振興を通じて、農業振興を図る。	・茶摘みボランティアのシステムの確立。 ・報奨金の拡充支給。 ・出品茶対策研修等の実施	・ボランティアシステムは未確立。55名の登録があり、延べ99名を派遣。 ・報奨金の拡充。 ・出品茶対策研修を3回実施	C	出品茶揉み機の改良。 技術研修の実施。
	5.鳥獣被害防止柵の設置	・イノシシによる農作物被害が後を絶たず、対策を講じる必要がある。捕獲事業と合わせて柵の設置を支援する。	・従来の国の補助制度に加え、本年度から市単独の補助事業を実施することにより防護柵設置を支援する。	市野生鳥獣被害総合対策事業補助金制度を創設。その他の事業とあわせて防護柵を9,238m設置した。	B	

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	6.普賢寺地域の活性化	・普賢寺地域における新規就農者の支援体制づくりや都市部住民との交流など「農」をキーワードにした地域による自主的な活性化活動を促進する。	・市単独の補助事業を実施することにより普賢寺地域の自主的な活動に対し支援を行う。	研修事業、地域環境改善事業、共同利用資材等整備事業、被害農地等復旧事業等により普賢寺地域の自主的な活動を前進した。	B	
	7.京田辺市環境基本計画の見直し	・平成26年度に目標年次を迎えることから、これまでの施策の成果の検証を行い、かつ、平成21年度に実施した中間見直し以後、社会的経済的情勢や本市を取り巻く様々な環境問題の変化に対応するため、本計画の見直しを行う。	・京田辺市環境基本計画推進委員会の設置 ・第2次京田辺市環境基本計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定業務を委託 ・市民/事業者アンケート調査実施 ・京田辺市環境基本計画推進委員会を設置(委員委嘱) ・同委員会開催4回 ・計画を見直し、第2次京田辺市環境基本計画を策定 	A	
	8.廃棄物の不法投棄等への監視や土採取・埋立事業等への指導を強化するとともに、環境パトロールの実施による良好な生活環境の保全に取り組む	・家電製品、家庭用ごみなど廃棄物の不法投棄や違法な野焼き、山林破壊等に対する監視及び指導を強化し、環境破壊の防止を図る。	・環境パトロールの実施 ・監視カメラ、感知センサー等監視システムの運用 ・関係機関との連携強化 ・不法投棄未然防止事業(一般財団法人家電製品協会の助成制度)の活用 ・環境保全に関する啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・日中及び夜間の環境パトロールの実施(対応件数54件) ・監視カメラ3台、ダミーカメラ3台の購入、設置 ・市民一齊清掃で不法投棄ごみの回収を実施、6/1:10,350kg、9/28:990kg ・不法投棄家電のリサイクル処理を実施(33台) 	A	

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
9. ごみ処理施設更新計画の推進	・焼却施設更新は、市単独による建替を基本に検討を行うが、枚方市との広域化の可能性についても、併せて協議・検討する。 ・広域の可能性があると確認できれば、具体的な協議・検討を行う。 ・広域化、単独化の方針が決まれば、その実現に向けて進める。	・ごみ減量化推進審議会運営 ・ごみ処理施設整備基本構想の策定 ・循環型社会形成推進地域計画の作成及び大阪府協議(広域) ・広域処理の可能性協議、検討 ・広域処理の具体的な協議、検討 ・地元連絡協議会運営	・審議会を10回開催、平成26年9月に答申を受理。 ・審議会からの答申を受け、平成26年12月にごみ処理施設整備基本構想を策定した。 ・循環型社会形成推進地域計画を作成し、平成27年1月に大阪府及び環境省に提出した。 ・平成26年12月、枚方市と「可燃ごみの広域処理に関する基本合意書」を締結した。 ・可燃ごみの広域処理に関する具体的な協議・検討を行っている。 ・平成26年5月に甘南備園施設整備連絡会が設置された。5月以降、現在に至るまでに6回開催され、連絡会だより(回覧)も4回発行された。	A	・広域処理の具体的な協議、検討については、引き続き実施していく。 ・甘南備園施設整備連絡会等を通じて、今後も引き続き、懇切丁寧な説明を実施していく。	

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
10. ごみの発生抑制・再利用の促進	・ごみ処理基本計画に掲げた施策に取り組み、ごみの減量化を推進する。 (家庭系ごみ) 粗大ごみ及び持込みごみの有料化を検討する。 (事業系ごみ) 排出事業者責任及び分別排出の浸透を図る。	(家庭系ごみ) ・粗大ごみ等の有料化に向けた制度設計 ・3R普及啓発の拡充 *集団回収団体数 *目標81→83団体 *研修及び出前講座の内容拡充 ・廃小型家電拠点回収 ・資源ごみ持ち去り防止対策 (事業系ごみ) ・事業者向けごみ排出方法の啓発 ・ごみ処理手数料の再検討 ・一般廃棄物処理業許可制度の導入検討	(家庭系ごみ) ・制度設計については、現在検討中。 ・集団回収団体数は82団体。(81団体→82団体) ・平成26年10月1日、小型家電の拠点回収を試行。平成27年4月1日からは本格実施。 ・出前講座を三山木小学校で実施した。 ・資源ごみ持ち去り防止対策について、広報啓発活動を実施している。 (事業系ごみ) ・「事業者のごみの出し方」パンフレットを作成する等、啓発活動を行い、市内事業所への郵送準備も進めている。 ・ごみ処理手数料の再検討については、第8期ごみ減量化推進委員会において、現行金額が妥当であると判断されている。 ・平成27年4月1日、一般廃棄物処理業許可制度を導入。	B	(家庭系ごみ) ・粗大ごみ等の有料化に向けた制度設計については、引き続き検討を行う。 ・集団回収等の地域の自主的な取組の活性化を図り、団体数の増加を目指す。 ・出前講座の充実を図る。 ・小型家電の回収量の増加に努める。 (事業系ごみ) ・委員会での検討結果を受け、事業系ごみ処理手数料の再検討は行わない。 ・一般廃棄物処理業許可制度については、展開検査の実施等、制度の円滑な運用に努める。	

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】